

吉松英喜
教育長

学校だよりは、学校において若干の差はあるが、保護者や郵便局など

町外在住職員への対応

一般質問

問 大豊町職員憲章の具現化を
答 地域担当制度を活かす

小川智也議員

過去にも町外職員に関して様々な意見が出され議論されてきた。やむを得ず町外職員になり、窮屈さや罪悪感を持つ職員がいると思われる。町外職員は地元行事の情報が少なく、参加しにくいのではないだろうか。町長が積極的にチャレンジする職員を目指すと言言しても伝わりにくい。「大豊町職員憲章の基」をさらに具体化し、どんな行動を起こすかの詰めが必要である。各地域行事に町外職員を含む数人が必ず参加し、アシスタント

の公共的団体、各区長に配布をしている。今後多くの方に読んでいただける方法を校長会などで検討する。教育委員の個人的評価は困難な部分がある。教育委員会の自己点検及び評価は、毎年議長に報告している。

(補助)に回る案を提案する。町民に見える行動を期待する。

岩崎憲郎町長

全職員を地域担当として、9地区の公民館単位で配属している。地区の行事への積極的な参加や毎月一回は集落へ出向くなど、地域の課題など全職員が情報を共有してきた。今後は大豊町職員憲章を周知徹底し、地域への参加を積極的に行う。

一般質問

高知おおとよ製材操業による地域活性化は

問 大型製材操業によるメリット、環境整備は
答 森林施業団地づくりを積極的に推進する



渡辺則夫 議員

を望む。

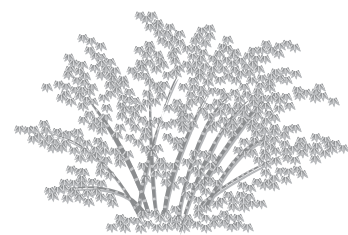
岩崎憲郎町長

本町の森林整備につなげてこそメリットが出るのではないが、整備につながる供給体制ができないとほとんどが町外から供給されたり、従来の素材生産の中から供給されたりしてメリットが出なくなる。そのためには山主の意識調査が大事と思うが、そのことは十分に行われてきたのか。また供給される森林が効率の良い山林だけになることが懸念される。集落近くの整備には工夫が必要で、長年かけて積み上げてきた大豊の財産を守り将来につなげる取り組み

を望む。

岩崎憲郎町長

おおとよ製材への原木の供給は、森林組合連合会が担うことになっている。本町では森林組合が全集落をまわり、組合員と今後の林業について会合も開催した。高知おおとよ製材操業を契機とし、今後森林の団地化を積極的に推進して、森林組合を中心に森林管理の長期受託などによる環境整備に取り組む。



一般質問

人件費の検討を

問 常勤特別職・議員報酬・職員給与は適正か
答 現時点では適正

渡辺則夫議員

町民の生活はますます苦しく、国民年金だけで暮らす方が多い過疎高齢化した町の中で、常勤の特別職(町長・副町長)給与、議員報酬や職員給

与だけが町民の所得レベルとかけ離れていることが適正と思うか。また地方公務員給与削減問題にはどう取り組むのか。

岩崎憲郎町長

特別職給与、議員報酬、職員給与はそれぞれ条例に基づき支給されており、この条例は議会の議決を得ていることから、適正であると思っている。今年の7月から国家公務員に準じて職員給与カットをするかしないか

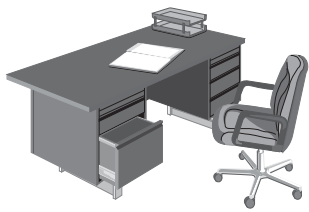
移住希望者への情報発信

一般質問

問 移住希望者は過去2年間の納税証明書が必要とあるが
答 移住の話を具体的に詰める際提出を条件としている

渡辺則夫議員

大豊に移住しようとする人に対して、町が空き家を紹介する際、過去2年間の納税証明書の提出を求めているが必要なのか。その人と接する中で人物を見ることが大事ではないのか、無職等で納税証明を提出できない人もいる。移住を促進するために県の移住サポート制度をなぜ利用しないのか。



岩崎憲郎町長

過去の事例から具体的に詰めていく段階で納税証明書の提出を求めている。現在まで取り組んできた緊急雇用対策事業で行う。

一般質問

アンテナショップの経営主体の検討

問 「大豊ゆとりファーム」が行っていた業務であり元に戻すべきではないのか
答 ふるさと生産組合を支援していく

渡辺則夫議員

ふるさと生産組合は町内の農家100人くらいで農産物を出荷しているが、関係者が大変苦労している。本来「大豊ゆとりファーム」が行っていた業務であり元に戻すべきではないのか。

岩崎憲郎町長

過去において大豊ゆとりファームの経営の一環として取り組んでいたが、経営が悪化し再建のため、ふるさと生産組合が行うこととなった。組合の経営も大変であることから今後も支援する。

一般質問

集落人口の減少対策

問 集落の再生対策にどう取り組むか
答 みんなで支える郷づくり事業等を充実し集落機能の充実を図る



今井安博 議員

平成24年11月の町長選挙は無投票で再選され、住民から重い付託を受けている。各集落とも人口が激減しているが、集落の再生対策にどう取り組

むか。

岩崎憲郎町長

集落を中心とする取り組みの推進により、集落の元気から地域を再生するため、「地域でみんなが助け合う」地域をみんなで守る「地域をみんなで元気にする」、この3本柱を基本とした複数集落による取り組みを支援



高知おおとよ製材工場建設中

する「みんなで支える郷づくり事業」をさらに充実し、ハード、ソフト両

面からの集落機能の再生に積極的に取り組む。

一般質問

問 空き家を地域資源として活用し、定住人口増と民泊の推進による地域活性化を
答 民泊の組織を核とし積極的に取り組む

今井安博議員

集落によつては空き家が年々増加し、一抹の寂しさを感じる。この空き家を地域資源として有効活用し、過疎地域における定住人口の増加と農家民泊の推進による地域活性化を。

後とも取り組む。農家民泊については組織が設立されており、この組織を中心に積極的に取り組む。

岩崎憲郎町長

田舎暮らしを目指す移住希望者の受け入れに今



八川

一般質問

国の大型補正予算でインフラ整備を

問 町道等の維持修繕を
答 今期定例会に町道改良・舗装工事費に1億1385万円を提案

今井安博議員

生活に密着する社会資本である町道等約500キロメートルは、快適な運行ができない箇所がある。今回の大型補正予算で思い切った舗装等の維持修

繕を。

岩崎憲郎町長

今回、国の大型補正予算で、本町では主に町道改良・舗装工事を施工する。